



特別養護老人ホームみちのく荘

# まるめろ通信

【まるめろ通信 / 第88号】

発行日 / 2012年5月27日  
発行 / 青森社会福祉振興団  
みちのく荘 0175 (23) 1600  
みちのく金谷デイ 0175 (23) 0771  
城ヶ沢みちのく荘 0175 (24) 3163  
脇野沢いこいの里 0175 (31) 5611  
Eメール / marumelo@michinokuso.or.jp

私の小径  
こみち

価値観を180度変えたら毎日がとても楽しい。  
多くの人に支えられて、今の私がある。

菊池 瑛 さん 昭和9年生まれ 77歳 / 広島県出身



水墨画は菊池さんの作品。亡き旦那様が乗っていたヨットを描いた大切な思い出の一品です。

菊池さんは、週1回金谷デイサービスを利用してあります。利用日の朝は、その日の時間を有効に使ったため、映画や催し物などが記載された月間予定表を確認します。

「今日は何をしようかな?と、予定を決めるのも楽しい。人の手を借りることで自分らしく生活できるということに、元気なときは気付きませんでした。」

と照れ笑います。

2年前、車で友人宅へ出掛けたときに大動脈瘤で倒れ、青森市民病院へ運ばれました。2ヵ月間意識不明の状態が続き、自宅に戻ってからも心不全発作を繰り返し、寝込むことが多くなりました。そのため体力や筋力が衰え、

「外に出たくてしょうがないんだけど、坂道とか段差が怖くて歩けない。手の力も弱くなって好きな絵も描けず、何もできなくなった気がしました。」

それまで、人に頼らず生活することが自分らしさだと思っていた菊池さんでしたが、娘さんたちの協力や友人の支え、デイサービスの利用によって、その価値観は大きく変わりました。

「娘には全面的に世話になり、頭が上がりません。」

退院後しばらくは娘さんの家族が泊まり込んでくれ、デイサービスも勤めてくれました。デイサービスはどこか悪い人が行くものという先入観や、何をするかわからず不安がありました。実際に行ってみると、「充実したりハビリができて、すごく元気になった。自分でやりたいことを探すことができ、絵手紙も描けるようになりました。」

友人達もよく電話をくれます。

「どうしてる?またランチしよう」と、迎えに来てくれるんです。そういう時間って苦痛を忘れるのね。おしゃべりしていると元気をもらうことができます。」

周囲へ「ありがたい!」気持ちで沸き、心身ともに自信がついたことで、自宅での過ごし方も変化しました。

自分でできることはできる範囲でやるうと、今では料理本を見ながら息子さんの食事作りができるまでに回復しています。

夫の家業を継ぐため家族でむつに移り住み今年で50年。仕事に子育てにフルに動き続けていたと半生を振り返りつつ、苦勞に感じたことはないとサラリ。住めば都というこの地で得た自身の宝物は、「支えてくれた多くの人達」。

記 / 村林 優里

ギャラリー金谷には、版画家関野準一郎氏の作品を中心として美術品を常設展示しています。展示作品は定期的に更新、毎月異なる雰囲気を楽しむことができます。

また、みちのく金谷総合デイサービスセンターで行われる手芸教室やフラワーアレンジメント教室などで作成した作品が並びます。



私たちが提供しているサービスには、「え?こんなことできるの?」と思うようなことがたくさんあります。「イチオシ!シリーズ」でさまざまなサービスを紹介します。

イチオシ!  
シリーズ⑨

みちのく金谷総合  
デイサービスセンター  
ギャラリー

みちのく金谷総合デイサービスセンター内ギャラリー金谷にある展示スペース。個性豊かな作品、鮮やかな作品が並びます。利用者の手によって生み出された作品はひとつひとつ丁寧に作られた唯一無二のもの。手作りの温かさ、優しさに包まれているギャラリーです。

やさしい街づくりを応援しています。

**5月1日、介護移送サービス開始**

訪問介護ステーション 介護移送サービスとは、ヘルパー介助による病院受診などの外出支援を受ける際に法人の専用車で送迎を行うサービスです。

尚、利用の際は要予約となりますので、事前に「ご連絡をお願いいたします。」

〈対象者〉

- ・要介護または要支援の認定を受けた方
- ・ケアマネジャーより介護移送サービスが必要と認められた方

〈運賃〉送迎時間15分間 500円  
(15分経過ごとに500円加算します)  
(お問い合わせ)

みちのく荘総合ケアセンター訪問介護ステーション  
0175(23)9100 担当/野中

下北文化会館企画事業

**田村 響** Hibiki TAMURA  
ピアノリサイタル

2012.7.1 [sun]  
14:00 開場 / 14:30 開演  
下北文化会館大ホール  
前売券《全席自由》  
一般: ¥2,500 学生: ¥1,500  
※各券当日 ¥500増

下北文化会館 指定管理者 株式会社 東京堂  
〒035-0072 むつ市金谷一丁目10-1  
tel 22-8411 fax 22-8414 http://shimobun.com

水産物・青果物・食肉・冷凍食品等の卸売

有限会社 **ニツシヨク**  
NISSYOKU

青森県むつ市大曲二丁目13-35  
電話 (0175) 22-7222  
FAX (0175) 22-7081

新型シーマハイブリッド誕生

**株式会社 むつ日産**

むつ市大字田名部赤川ノ内並木110-4 TEL 0175-22-2284

クルニアワンの日記



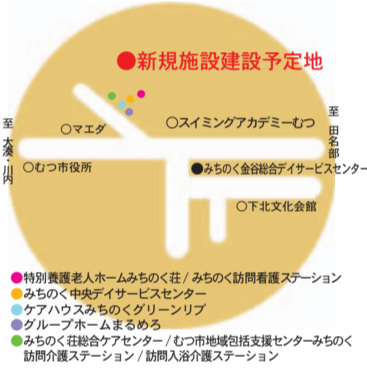
出身地 インドネシア共和国
バブア市
(ジャカルタ市から飛行機で約6時間)
趣味 洗濯、読書

日曜日の夜、ドームでフットサルをしました。小関係長たちがこのチームを作られたので、メンバーはほとんどみちのく荘の職員です。この日は、12人ぐらいい集まりました。
5対5に分かれて、10分試合して分休、この事を2時間くりかえします。ズボン下やトレーニングウェアをたくさん着ますが、始めは寒くてあまり走れないです。ゴールキーパーは、皆やりたくないで、ジレンケンで負けたムルさんがやりました。
フットサルは私の趣味で、インドネシアに住んでいる時、週2回は友達としていました。日本に来た時、もうフットサルをやる事が出来ないうと思っていましたので、今は毎週練習する事が楽しいです。一度、他のチームと試合をして、私のチームは負けました。しかし、皆さんは諦めません。フットサルをさらに頑張っています。次の試合のため、私も、いっぴも、どこでも、誰とでも、一生懸命やりたいと思います。
●クルニアワンの自筆です。

クルニアワンさん(通称 ワワンさん)は、EPA(経済連携協定)第三期生として平成22年12月にウイティさん・エルナさんとともにみちのく荘へやってきた介護福祉士候補生です。現在、5名の介護福祉士候補生を受け入れています。
ワワンさんは利用者からも「ワワン」などと呼ばれ親しまれています。仕事や試験勉強、日本語勉強と忙しい毎日の中、ワワンさんにとって週1回のフットサルは最高の気分転換となっています。
(編集委員)

十二林&金谷に、医療、福祉、文化を融合した「新しい街」が誕生!!

今号から新規事業のサービス内容を紹介します。第1弾は医療部門の紹介です。
十二林みちのく荘に隣接して、内科・リハビリテーション科を中心としたクリニック(診療所)と、回復期・維持期のリハビリをシステム化した外来リハビリテーション・通所リハビリテーション・訪問リハビリテーションを展開するリハビリセンターがオープンします。
(内科、リハビリテーション科)
当クリニックは、経験豊かな川部汎康医師が常勤します。電子カルテで個人データを管理し、むつ総合病院と連携を図りながら安心な医療提供をします。
また、訪問看護ステーションと連携を取り、訪問診療を実施して在宅医療に取り組み、地域医療に貢献します。
■リハビリテーション
リハビリテーションは、主に痛みの緩和や行動範囲を広げられるよう目指し、住み慣れた自宅での日常生活が継続できるよう支援します。
(外来リハビリテーション)
みちのくクリニックの外来患者を対象にリハビリを実施します。
(通所リハビリテーション)
送迎付きのリハビリでクリニック内にて3時間程度リハビリを実施します。
(訪問リハビリテーション)
理学療法士、作業療法士が利用者宅に訪問し、生活場面に即したリハビリを実施します。



むつ市十二林
クリニック(内科、リハビリテーション科)
リハビリテーションセンター(通所リハビリテーション)
訪問リハビリテーション
ショートステイ(定員30名)
在宅サービスステーション
(訪問看護・訪問介護・訪問入浴介護・居宅介護支援)

目指せケアワーカー!! 平成24年度 新人研修報告

法人では、内定者を対象として入社前に研修を行っています。新人研修も毎年リニューアルを重ね、今年度は3月19日から29日の2週間という長丁場で行いました。
前半は、むつ市下北自然の家での合宿研修で社会人としての基本を学び、後半は城ヶ沢みちのく荘に会場を移し、法人の役割や介護技術を学びました。4月1日から、配属先拠点ごとに掃除、洗濯を中心に高齢者の「生活の場」に入ってもらいました。そして、4月21日から各々のチューター(教育担当職員)のもとでケアワーカーとして高齢者介護の第一歩を踏み出しました。
合宿研修に参加した内定者は高卒17名専門学校卒2名の大集団です。介護現場の人材不足は、当法人も例に漏れず、今年度に控え新たな新規事業に向け、何としても育て上げなければならぬ大集団です。
合宿研修を計画するに当たり、指導方針にも随分と思索しましたが、これまでの反省を基に、他人の人生に介入する仕事上、「愛ある厳しさ」を持って新人職員との関係作りを意識して過ごしました。
結果愛が感じられなかったとすでに辞



新聞の社説を要約したり、映像をみて内容をまとめるなどの確かな報告を行うために欠かせない日本語力の研修を行いました。



介護方法の映像(法人自作)をみて、悪い点を見つけてる気づきの学習。なぜ悪いのかを追及し、グループで討論しました。



ときにはレクリエーションでリラックスすることも必要です。頭に人物や物の名前が書いてある用紙をつけます。「甘いですか?小さいですか?」など相手に質問することでヒントを得て自分がいま何なのか、誰なのかを探るレクリエーションです。

めた職員もおりますが、「社会人としての厳しさがわかった」、「学生気分が抜けていなかった」と、歯を食いしばり頑張った職員は、自らの行動を反省することを知ったのではないかと自負しています。
このことは、当法人の介護理念でもある「人、ひとりひとりの心地よさ」を実践できる人材としての芽吹きになったものと思っけています。これまでの経験が全面否定され、外の空気を吸うこともままならない合宿は、決してその充実感であり、その場から逃げ出したかった職員も少なからず居たようです。その分、同期の絆が生まれ、法人への帰属意識も芽生え、社会人としての大きな一歩を踏み出したのだと思います。
この合宿を通じ、成長したのは新人職員ばかりではなく、私たちスタッフも人に向かい合う喜びを実感しました。毎日の反省会では、その成長ぶりに涙したり、悩まされたりと頭の中は新人職員のことばかりでした。
人が人に本気で向かい合えば必ずと結果がついてくるもので、より関係が深まり信頼の絆が結ばれるのだと思います。
介護の現場は、生活の場です。介護技術や知識以前に「人として」が問われます。合宿研修での経験が、これから待っている壁に必ず役立つことを信じて、「一気になる新人」のサポートを続けていきます。
人材部長 益城妃富

- 新卒職員 出身校一覧
(高校)
大湊高等学校 市浦分校 4名
金木高等学校 2名
五所川原商業高等学校 2名
田名部高等学校 大畑校舎 1名
東奥学園高等学校 2名
中里高等学校 2名
むつ工業高等学校 3名
青森第二高等養護学校 1名
(短大・専門学校・大学)
青森県立保健大学 3名
公立はこだて未来大学 1名
東奥保育・福祉専門学校 1名
八戸工業大学 1名

家族介護者のための 介護技術教室

日常生活で使う介護を楽しくラクラクと行うポイントを紹介いたします。どなたでも参加できますのでお気軽にご参加下さい。
尚、参加を希望される方は、事前にご連絡をお願いいたします。
(定員)20名
(日時)第1回 6月15日(金)
第2回 7月20日(金)
第3回 8月24日(金)
第4回 9月21日(金)
午前10時30分~12時まで
(場所)下北文化会館
(問い合わせ)
みちのく在宅介護支援センター
0175(23)7930 担当/佐々木濱田

やさしい街づくりを応援しています。

快適な環境づくりのお手伝い
○介護用品のレンタル・販売(車いす・ベッド・リハビリ機器他)
○住宅改修
株式会社 シルバーサービス
〒035-0033 むつ市横迎町2-9-13
TEL 0175-22-9511

暮らしの水を安全に。
下北環境保全株式会社
汚物汲み取り・浄化槽清掃維持管理
TEL 0120-221834
横迎町1-11-7 FAX 22-1834(代)
22-1806

海・山なくして、下北半島は語れない。
総合食品卸問屋
大市 株式会社
青森県むつ市大曲二丁目14番33号
TEL 0175-22-5525
FAX 0175-22-7172